






議長	局長	次長	主幹	主査
				

平成29年8月7日

養父市議会議長 様

議員氏名 藤原 哲郎 ㊟

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

1 活動月日 平成29年8月3日(木)～8月4日(金)

2 活動場所

エル・おおさか(大阪府立労働センター)

3 活動者氏名

藤原 哲郎

4 活動内容

NPO法人 建設政策研究所関西支所主催のコースを受講した。

8月3日(木)

(1) 講義 「人口減少」と地域づくり

講師：岡田知宏氏の講演を受講

(2) 講義 逆況から未来を拓く、あば村宣言と「小さな拠点」づくり

講師：皆木憲吾氏の講演を受講






8月4日(金)

講義 農村として「地方創生」にどう向き合うか

講師：坂本誠氏の講演を受講

上記の講義を受講した。



議 長	局 長	次 長	主 幹	主 査
				

別記様式

平成29年8月7日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 藤原哲郎 

研修成果報告書

（ 養父市議会議員研修要項第7条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

1 研修日時

平成29年8月3日から午後1時から4日午後3時まで

2 研修先

エル・おおさか（大阪府立労働センター）
大阪市中央区北浜東3-14

3 研修目的

NPO法人 建設政策研究所関西支所主催

一日目

「人口減少」と地域づくり

講師：岡田知宏氏の講演を受講

逆況から未来を拓く、あば村宣言と「小さな拠点」づくり

講師：皆木憲吾氏の講演を受講

二日目

農村として「地方創生」にどう向き合うか

講師：坂本誠氏の講演を受講



4 成果（具体的）

一日目

1. 「人口減少」と地域づくり

講師：岡田知宏氏の講演を受講

- 時代と足元の地域を大きくとらえる
- 「人口減少」とその社会経済的要因を見究める
- 地域を「活性化する」、「豊かにする」とは、どういうことか
- 地域づくりの具体例から学ぶ
- グローバル競争に左右されない個性あふれる地域経済・社会の再構築と自治体の役割

まとめ

地域づくりは、行政と住民との協同、そして団体自治、住民自治の実質的結合によって前進する。そのためには、議員、職員、住民が、地域を知り、科学的に将来を見通せる「地域学」・社会教育の場所が必要不可欠。加えて自治体立の常設研究所が重要性である。

2. 逆況から未来を拓く、あば村宣言と「小さな拠点」づくり

講師：皆木憲吾氏の講演を受講

- 取り組みの経過
- 阿波地域の全世帯ニーズ聞き取り調査
- 過疎地（交通空白地）有償運送事業
- 木の駅プロジェクト
- 移住者や学生による新たな取組も
- 逆境に対して、「あば村宣言」あば村運営協議会
- あば村づくりの3本の矢
 - 第1の矢：ちいさな拠点づくり
 - 第2の矢：あば村ブランドによる小さな仕事づくり
 - 第3の矢：都市農村交流を通じた移住・定住
- 取り組みのポイント
 - 1. 地域の誇りの醸成
 - 2. 物語の発信
 - 3. 組織づくり
 - 4. 基本的スタンス、視点
 - 5. 行政との協働
 - 6. 自治の模索
- 地域の持続的運営に向けての課題
 - 1. 安定的財源の確保・資金確保
 - 2. 地域マネジメント（企画・調整）機能の確保
 - 3. 実行組織の安定運営
 - 4. 後継者づくり・人材育成

*合同会社あば村

平成26年2月設立。出資者174人、出資金419万円、年間事業規模2,330万円（平成28年度）

二日目

1. 農村として「地方創生」にどう向き合うか

講師：坂本誠氏の講演を受講

- 「地方創生」もたらすもの～「地方創生」の罨
- 農村の直面する課題～農村政策の課題とその限界
- 農村の未来に向けていま私たちができること～自治体としてなすべきことを中心に
- まとめにかえて～地域づくりに取り組む際の心がけ
 - 1. 完成品志向からの脱却～斬新主義へ
 - 2. 炭火型地域づくりを目指そう（長期戦で考える）

（ 3講師のそれぞれの事例をあげながらの講演を聞き、大きな観点から、また、地域での立ち上げ問題解決への取り組み等に変感銘を受けました。

これらの講演を糧として養父市に少しでも取り入れればと思いつながら受講しました。

以上で報告いたします。

（